

\*\*\*\*\* 新井さん(jh1gye 局)からのコメント。 \*\*\*\*\*

ADF4350-PLL の電源を落とすと PLL の中にはデータ保持するメモリーはなくレジスターだけなのでデータを、PC から再度送らないと復帰しません。

代わりに Pic(12F629)などで PLL の立ち上げと同時に PLL のシリアルデータを、Pic でデータを送れば評価用マイコンボードは不要です。

- ①10MHz OCXO の VR は、5k~10k のほうが良いと思います。
- ②外部からの 10MHz OCXO にしても Reference Doubler SW をいければ pfd=20MHz になるので 25MHz 比較でそう悪化しないかもです。
- ③ループフィルター設定値変更 OK です。こちらもボードの値を実測してみました。同じですね。
- ④プログラムは 2pin オープンで 2274MHz、GND で 2240MHz に設定しました。そらから立ち上がりの wait 時間が PLL IC の校正などあるので 100ms では NG で 250ms にしました。周波数切り替えは速いです。とりあえずデバッグすみのプログラムなので PIC に書き込めば動作すると思います。
- ⑤PIC の VDD が 3.3V なので3線の配線は短くしたほうが良いかもです。
- ⑥2274MHz に比較し 2240MHz のほうがスプリアスが少ないのはインテジャー N 動作しているからです。2274MHz はフラクショナル N です。
- ⑦2CH の Pic プログラム設計(JH1GYE 局)  
1CH :2274MHz  
2CH :2240MHz
- ⑧4CH の Pic プログラム設計(JH1GYE 局)  
H H 2240MHz  
H L 2274MHz  
L H 2290MHz  
L L 2516MHz

新井 泉(JH1GYE)

<http://araikowako.web.fc2.com/>

////////////////////